



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

市議会だより



市指定保存樹の大原のしだれ桜

もくじ

- 3月定例会で審議した議案とその結果
…2～3ページ
- 各委員会の議案等の審査結果・公職選挙法に関するQ & A
…11～13ページ
- 市政に反映、皆さんの声・決議
(会派代表質問・一般質問) …4～10ページ
- 常任委員会の行政視察報告
…14～15ページ
- 新議長、副議長の就任・請願の結果・意見書・人事案件
…16ページ

3月定例会で 審議した議案とその結果

3月 定例会

日田市一般会計当初予算などを修正可決

平成二十三年第一回定例会は、二月二十五日から会期二十八日間で開催されました。この議会では、条例の制定、一部改正及び平成二十二年年度の各会計補正予算、また、平成二十三年年度一般会計予算や特別会計予算などの審議を行い、それぞれ左記の結果のとおり決定しました。

●会期
2/25~3/24



- 日田市里の駅やすらぎの里の設置及び管理に関する条例の廃止について
(原案可決・全員)
- 日田市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市職員公務災害等見舞金支給条例の一部改正について(修正可決・全員)
- 日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市一般職員の給与に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市特別会計条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市分担金徴収条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市国民健康保険条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市鯛生金山観光施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 県営土地改良事業等分担金徴収条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市法定外公共物の管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市交流・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市営住宅の設置及び管理に関する条例及び日田市営特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市公園条例の一部改正について
(原案可決・全員)

- 日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 林業センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市若衆宿の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市中津江ホルルの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市大山文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 天領奥日田やすらぎの郷の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 日田市B&G海洋センターの管理に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 辺地(月出山地域)に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
(原案可決・全員)
- 辺地(小山地域)に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
(原案可決・全員)
- 辺地(都留地域)に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
(原案可決・全員)

3月定例会で 審議した議案とその結果

- 辺地（日の本地域）に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
(原案可決・全員)
- 辺地（田代・小畑地域）に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
(原案可決・全員)
- 辺地（川原地域）に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
(原案可決・全員)
- 辺地（上野田地域）に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
(原案可決・全員)
- 日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市木材加工施設の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市林業生産活動施設の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市公園の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 隈まちづくりセンターの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市公民館の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 林業センターの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市若衆宿の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市中津江ホールの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 日田市大山文化センターの指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 天領奥日田やすらぎの郷の指定管理者の指定について
(原案可決・全員)
- 市道路線の廃止について
(原案可決・全員)
- 市道路線の認定について
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市一般会計補正予算（第四号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市国民健康保険特別会計補正予算（第三号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市老人保健特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第二号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市介護保険特別会計補正予算（第二号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市診療所事業特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市給水施設事業特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市公共下水道事業特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第一号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市情報センター事業特別会計補正予算（第二号）
(原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市水道事業会計補正予算（第二号）
(修正可決・全員)
- 平成二十三年日田市国民健康保険特別会計予算
(原案可決・多数)
- 平成二十三年日田市後期高齢者医療特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市介護保険特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市診療所事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市簡易水道事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市給水施設事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市公共下水道事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市農業集落排水事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市情報センター事業特別会計予算
(原案可決・全員)
- 平成二十三年日田市水道事業会計予算
(原案可決・全員)
- 工事請負契約（地域情報基盤伝送路施設整備工事請負契約）の變更契約の締結について
(原案可決・全員)
- 日田市一般職員の給与の特例に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)
- 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について
(修正可決・全員)
- 日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任について
(原案同意・全員)

代表質問
一般質問

市政に反映
皆さんの声



平成二十三年第一回定例会では、三月七日、八日、九日の三日間にわたり、市政に関する各会派の代表質問及び一般質問が行われ、十五人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

代表質問

新年度施政方針を
質す

社民クラブ
羽野武男

質問 昨年九月議会で、障がい者の働く場の確保について提案し、早速業務をパッケージ化して障がい者団体に委託することである。現在の障がい者団体との協議は、どの程度進んでいるのか。
部長 業務の委託先は、知的障がい者本人と家族、支援者で構成し

ている「日田市手をつなぐ育成会」を予定しており、現在協議を進めている段階だ。

委託する業務内容は、議員から提案のあった緑のカーテンの苗づくりや、郵便物の各課への配付業務、各課の資源ごみの回収や整理業務などを予定している。

質問 小学校の統廃合で教職員数が削減される場合には、正規職員の比率を上げていくべきだと考えるが、教育委員会の考えを伺う。

教育長 昨年十二月、市長とともに、県知事と県教育長に正規教職員の特別配置等について強く要望した。今後も統合の状況も見ながら、県への働き掛けを行っていく。
質問 五馬地区の小学校の統廃合

で、五馬市小学校前の市道が狭く、安全確保に対して不安の声があるが、どのように考えているのか。

部長 改良に向けて、調査測量を早急に行いたい。

質問 地区公民館の職員は、将来的にも財団法人の正規職員で対応するのか。

教育次長 館長は嘱託職員として、主事は正規職員として引き続き財団法人に雇用する。将来的にも同様の雇用形態を考えている。

質問 天瀬公民館の体制強化についての考えを伺う。
教育次長 他の地区公民館と比較しながら主事の配置について検討した結果、常勤の主事は、現行どおり一名の配置で事業展開が可能

中心市街地活性化
事業について

新世ひた
赤星仁一郎

であると判断したが、財団法人事務局に配置する主事が機動的に天瀬公民館の活動を支援することとした。
質問 その他、経済対策や林業振興、観光対策等について質問した。

質問 中心市街地活性化事業、まちづくり公社設立への取組について問う。

市長 遊船、屋形船を現在の旅館経営から切離し、鵜飼いも一体として事業を営み、これから得た収益で中心市街地事業につなげたい。今後は、関係団体と協議を行い、事業の推進を図る。

質問 酒蔵を活用した美術館構想の今後の事業計画について説明を求めらる。

市長 老朽化が進む歴史的建造物である酒蔵を、保存、生かしていくには、早期に取得し修理しなければならぬ。新年度においては、まず耐震補強を行い、貴重な歴史的資産である古い酒蔵群を一体的



天領のまち 大丸・日田展

に保存し、建物の履歴調査を行い、修理方針等を決定するとともに、カビの調査を行い、複数の酒蔵と中庭の広い空間を含め、敷地全体をどのように整備していくか地域の皆さんと十分な協議を重ね、基本計画を策定していく。

質問 福岡大丸において、平成二十一年、二十二年と、二回大丸・日田展を開催しているが、どのように検証しているか伺う。

部長 この事業を実施したことにより、大丸ギフトショーの日田コーナーが設けられるなど、地場産品を販売する機会が増えた。また、出店業者についても、パッケージ

デザインの改良など販売意識の向上や積極的な新商品の開発が見受けられた。

質問 九州新幹線の全線開通に向け、観光客を日田へ呼び込む取組について伺う。

市長 一、新幹線活用久大本線活性化協議会を立ち上げ、九州の横軸に観光客を誘致する。二、新鳥栖駅からのバスルートでの観光客を誘致する。三、阿蘇方面から日田へ観光客を引き込む新しい観光ルートの造成を行う。

質問 この他、第四次行政改革大綱、雇用対策について、市長、部長に答弁を求めた。

国保税ひとり平均 一万二千円を引き下げよ

|| 日本共産党 ||
日 隈 知 重

質問 国保税引下げを求める市民の願いに、応えられない理由は何か。

市長 日田市の国保は、厳しい財政運営。国保税を引き下げる財源となる決算剰余金と基金は、四月末におおよその金額が分かる。その後に来年度の国保税を検討する

ので、今の段階では答えることはできない。

質問 一人平均一万二千円の引下げはできる。厚労省のミスで過少交付となっていた交付金四千九百万円が、今年度中に入ってくる。

この他に例年どおりであれば、国保特別交付金一億数千万円。また、市は、国の国保財政安定化支援事業で国保会計に入れるべきお金を入れている。合併後だけでも約一億七千万円、合併前の分も計算すれば数億円にもなる。ないのはお金ではなく、市民への思いやりではないか。

市長 一般財源を入れるとすれば、日田市の国保税の水準はどのくらいにあるべきかという議論をする必要がある。

質問 塚田牧野での牛舎建設事業を断念した理由は何か。

部長 地元の理解が得られるめどが立たない。本川牧場と大分県が断念に向けて協議中と聞いている。

質問 大分県は白ねぎ畑と牛舎建設予定地だった所をユンボで掘り入れられた堆肥の状況と土壌の状況を調べている。堆肥が入れられて表面から八十cmから九十cmが黒くなった土の層の畑、そのすぐ隣

の畑は十cmから十五cmくらいしか土が黒くなっていない。大量の堆肥は撤去されるのか。

部長 一般的に行われている利用であり、撤去の指導は行わないと県から聞いている。

質問 TPP参加は、食と農業、地域経済、環境を壊すものになるのではないか。

市長 幅広い影響が出てくる事柄。反対とか賛成とか言えるだけの情報は無い。

岩澤画伯記念館・ 観光対策について

|| 政友会 ||
室 原 基 樹

質問 昨年四月に岩澤重夫画伯作品保存検討委員会を発足し、実質二回の開催で、記念館の建設場所はクンチョウ酒造の酒蔵が望ましいとの結論付けをした。行政主導の進め方に不透明さを感じる。

建設についての賛否や場所等について、市民の意見を聞くべきではなかったのか。また、土地の取得については、市長の任期もあと僅かであり、次の市長に委ねるべきかと思うがどう考えるのか伺う。

市長 岩澤画伯記念館建設については、河北教授などの専門家の意見を聞きながら、酒蔵を活用した基本構想の策定に取り組んでいる。市民の意見を聞く必要性については、検討委員会で議論しており、全市的に話を広げて聞く必要はないと判断している。また、河北教授から日田の歴史・文化を感じる上で酒蔵は重要な場所であり、市の経済振興につながる拠点性を持たせることができるとの意見もいただいている。

質問 平成二十一年に観光ポスターを河北教授に委託し、二千万円の費用を掛けて制作しているが、このポスターの制作目的と活用方法について伺う。

部長 水郷日田のブランドとしての資源を紹介することで、日田市の魅力を発信し、知名度の向上を目的として、河北教授にお願いをした。空港や駅等の観光客の目に付く所に掲示した。

質問 本市の観光客は年々激減し続けているが、この傾向をどう思うのか。また、津江地域を日田の玄関口として、阿蘇からの観光客を呼び込む施策について伺う。

部長 平成十七年から二十一年の

間で、百三十三万人の観光客の減少となっている。景気の低迷により旅行等を手控えたのが主要因だと思う。

観光対策としては、津江地域を魅力ある資源として磨きを掛けることが、これからの重要な課題だと思いい、観光ルートの造成をする。

市民への情報の公開と透明性について
 〓無所属クラブ〓
 川崎 邦 輔

質問 SNSを利用した情報手段が、ジャスミン革命等を引き起こした。これらを市長はどう思うか。

市長 SNSやネットの有効性や利便性は認めるが、弊害もあり早急なルール作りが必要と考える。

質問 これらを情報公開や意見集約等に活用している自治体がある。市での活用は考えられないか。

市長 行政分野で使うには慎重な対応が必要だが勉強していく。

質問 市民の理解を得る為に、本会議最終日や議案質疑・各種委員会等をネット配信やケーブルテレビ等で公開すべきと思うがどうか。

市長 最終的には議会の判断だが、

オープンになるのは好ましい。

質問 愛知のトリプル選挙や阿久根市長選挙の結果、議会リコールの成立等を市長はどう思うか。

市長 税金や報酬の減額が目玉の選挙で良いのかと思う。阿久根市長選では、現職が落選したが、僅差であり、住民の閉塞感を打破したいとの思いに考えさせられた。

質問 消費税の増税をどう思うか。

市長 少子高齢化や人口減少の中で避けて通れないと考える。

質問 認定こども園の現状と民間保育園連盟との協議について伺う。

部長 昨年十一月から運営を開始、二園の合計定員は六十人だが、現在二十六人である。新年度はこれを上回る希望がある。民間保育園連盟との協議はしていないが、新保育所の設置や定員の変更がある場合は、市議会の意見書の趣旨に従い幼保連絡協議会を開く。

質問 この問題では、市のHPに四七〇件もの意見が寄せられた。こんなとき、市民の意見を広く聞く為の公聴会を開かないのか。

市長 公聴会を持って物事を進める考えはない。これまで通りする。

質問 来年度の国保税の見直しは、

部長 現段階での予想は難しいが、

被保険者の負担を軽くはしたい。

質問 他に、行財政改革、自然史博物館、岩澤重夫美術館構想、隈豆田観光再生プラン等を質問した。

〓SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）とは、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のサイトで、新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのことで。

コミュニティバスについて
 〓公明党〓
 松野 勝 美

質問 市内循環バスひたはしり号ですが、病院や買物など地域における外出の充実のために重要である。市民の声を取り入れられて、本格運行の意向となっているのか伺いたい。

部長 通年で利用者アンケートを実施しており、このアンケートと運転員からの聞き取りでの要望の多かった地点への運行を実現しようとして、十月一日に路線変更を中心として、ダイヤ改正をしている。

質問 朝日ヶ丘とかよくお話を聞くと、足の悪い方とか体の不自由

な方から、降りる時に段が高いので、転げ落ちると。そういった地域に、ひたはしり号は床も低いし、そういった方たちに対して、優しいバスであるので検討できないか伺いたい。

部長 小型の低床バスの購入を予定している。高齢者の方、身障者の方でも十分利用できるバスと思うので、購入ができれば低床バスを、朝日ヶ丘線にも回したいと検討している。

質問 住宅の空き家が、増加傾向にある。空き家を放置すれば、倒壊の危険もあり、地域環境の悪化を招くが、空き家による悪影響はないのか伺う。

部長 市民からの空き家に関する苦情や相談等は、平成二十年度以降で四件である。雑草や虫が発生する。空き家の草木が伸びて水田の管理ができないなどである。

質問 ほんとに四件ぐらいなのか、私が今回聞いた中でも相当な件数があった。空き家から竹林とか雑草が道にはみ出して、結局隣の方が、片付けをしている。市として、相談を受ける窓口を強化して、空き家の調査をしてもらいたいと思うかどうか。

部長 自治会長や、地区の防犯協会の方などの協力を得ながら、調査を考えてみる。

質問 他に、有害鳥獣被害対策、キヤノンマテリアルの今後の計画について質問した。

一般質問

第三セクターのあり方を問う！

井上 明夫

質問 第三セクターが管理する、ひびきの郷などの観光施設に対する合併後の設備投資の額を伺う。

部長 三つの第三セクターが管理する施設に合併後に二億四千万円の設備投資をしている。

質問 これらの施設の指定管理者を公募する考えはないか伺う。

部長 これまでどおりでいきたい。
質問 第三セクターの一つは役員報酬が年間約一千万円であり、他の二つに比べて十倍近いが、個人別の役員報酬を情報公開する予定はないか伺う。

部長 個別の役員報酬を公表する

考えはない。

質問 その第三セクターは平成二一年度の短期借入金ゼロから二七五万円に増え、現金預金が六九〇〇万円から五九一四万円に減っているが、経営は大丈夫か伺う。
部長 しつかり経営するよう役員会で厳しく指導をしている。

質問 市が設備投資を延々と続けるのは実質的な赤字補填と言えるが、第三セクターの株を売却して設備投資を行ったり、施設ごと民間に売却する考えはないか伺う。

市長 地域の雇用も考えてできた施設なのでこのままで運営したい。
質問 テマンドタクシーは、JRの駅に送迎する午前と午後の各一

便だけでなく、乗降場所などが自



豊後・大山ひびきの郷

由な運行はできないか伺う。

部長 地区内で自由に乗り降りできるように運輸局に申請している。

質問 この他、地デジ難民対策における行政の役割と地域住民が学校教育を支える学校支援事業について質問した。

久大本線を高架に

鷹野 守男

質問 低いガード以外に、踏切の安全対策の面からも、久大本線の高架をJR九州に要望すべきだと思いが考えを伺う。

市長 長期的なことになると思うが、日田市民に高架の要望があることをしつかり伝える。

質問 日田駅地下通路に、障がい者や高齢者に優しいエレベーターを設置する考えはないか。

部長 エレベーター設置に向けて、JR九州と協議を続けていく。

質問 大分市での試験や会議等の日帰り業務を可能にするため、大分駅七時四十一分着、豊後森駅発の列車を日田駅につなげないか。

部長 多くの市民が要望しているのであれば、要望したい。

質問 築三十九年が経過する駅舎の建て替えを要望することはできないか。

部長 JR九州では、現在駅舎の改修計画はないが、要望を続けていく。

質問 日田駅を利用する目的地の多くは駅裏方向にある。そのため、日田駅に裏駅を新設できないか。

部長 高架化されれば困難だと思いが、駅舎の改修となった場合には、駅舎と裏駅をつなぐ連絡通路を一体的に橋の上に作る橋上化等も検討されると思う。

質問 島根県津和野市ではSL山口号が走り、観光客の誘致に効果が出ている。久大本線にSLの運行を要請できないか。

部長 現実的にはハードルが高いと聞いているが、観光列車等の運行も含めて、大分県と連携を図り、JR九州に要望活動を続けたい。

高齢者見守りシステムについて

石橋 邦彦

質問 市長の「市政執行の基本的な考え」の中に、新しい高齢者見守りシステムの確立、緊急通報体

制の充実を目指すところがあるが、どんな検討がなされてきたのか、具体的内容を伺いたい。

部長 地域情報基盤整備を利用した、新たな見守りシステムの構築向け、関係部署と協議を行い対処していきたい。

質問 現在、日田市には、三通りの見守りシステムがあり、通報件数が把握できない地域があるが、その対応はどうするのか。

部長 通報件数が把握できない地域に二百台程度の装置が設置されている。今後の確認の方法を検討していきたい。

質問 高齢者見守りシステムに対する市長の考えを伺いたい。

市長 日田市も情報基盤整備が整ったので、これを生かし、間を置かず検討を進めたい。

質問 市内循環バス、ひたはしり号が、四月から三台で本格運行されるが、利用者増加のためにどんな計画がなされているか伺いたい。

部長 利用者の増加対策として、広報、チラシの配布、沿線の自治会、商店街、病院、スーパー等への路線図の掲示や時刻表の配布を行っている。老人クラブ、商店街のイベント等でも試乗券の配布を行

い、利用促進に努めている。また、一部路線ではあるが、停留所以外の場所でも乗り降りできるフリーバス区間を設け、利便性の高い運行を目指している。

クンチヨウ酒蔵構想は住民の理解を踏まえて

矢野 美智子

質問 クンチヨウ酒蔵の購入を、市が直接行わないのは、議会の議決が必要になるからか。

市長 クンチヨウの経営が非常に危ないという背景がある。地元での理解は得られていると思う。

質問 地元の理解は得られていない。新聞報道を見て、多くの市民が怒っている。土地・建物の購入で一億九千万円、耐震など改修費用で十数億円掛かると聞いている。このような多額の税金投入は、市民の意見を十分聞くことなしに、進めるべきではない。

市長 酒蔵を守るといふ私の考えが理解されておらず、残念だ。

質問 延寿寮の実態を伺いたい。

部長 四十五人の入所者の内、三十人が介護を必要とする方である。
質問 養護老人ホームは六十五歳

以上の元気なお年寄りで、経済的理由により家庭で養護できない方が入所する所である。要介護者が大半を占める状態では、支援員など職員を増やす必要があると思うがどうか。

市長 養護老人ホームとしての機能を果たすよう、入所者の話を聞いて、考えてみたい。

質問 食は健康の源。体調変化の激しい高齢者の食事提供の要は、栄養士である。栄養士が臨時職員では役割が十分に果たせない。正職員にしていく考えはないか。

市長 入所者にとって安心できる環境か、今後の検討の中で判断していきたい。

質問 他に地デジに移行するに当たり、地デジ難民が出ないように尋ねた。

市職員と民間の給与格差の是正を追及

飯田 茂男

質問 市職員給与と民間給与の格差是正、職員給与の引下げを強く求める市民の訴えがある。民間水準に合わせた職員給与の見直し引下げ、格差縮減の考えはないか。

体制の確保について、拠点施設を含めてどう検討しているのか伺う。
部長 桂林公民館の跡地の一部を居場所として利用することができないか検討している。

市長の基本方針の 分析と問題点

高瀬 敏明

質問 市長の基本方針である「元気で活躍する日田」「夢と希望を育てる日田」「楽しく安心して暮らせる日田」について、どのように分析しているか伺う。

市長 キヤノンマテリアル、九州ジーシーの企業誘致、大丸日田展、日田産材の需要拡大等に取組み、経済効果にも期待している。合併後、森林整備、環境対策等幅広く総合的に水郷日田のブランドづくりを進めてきた。小中学校のエアコン、教育費の保護者負担軽減等も積極的にやっていく。またデマンドバス等交通整備にも取り組み、周辺地域の活性化のため、助成制度を設け自主的なまちづくりが支援できた。五年、十年を見据え、日田活力創造プロジェクトとして五つの取組を始めた。

質問 議員が参加していない土地開発公社理事会は機能していない。クンチョウ酒蔵の件も少し時間を置くなど、理解を深めるべく慎重に対応すべきではないか。

市長 土地開発公社の理事は執行部だけになったが、チェックがきかないことはない。クンチョウの件は、所有権を切り離した中で基本計画の段階に入ること進めた。

質問 国保税が約三割も上がったことは深刻な問題である。どのように考えているのか伺う。

市長 急激に上がったことは大変心苦しく思っている。一般財源も視野に入れ、市民の皆さんの理解を得られるならそれも一つの方法であると考えている。

質問 その他、天瀬振興局の空室を利用した長三洲資料館の設置等。

政治家佐藤陽一で あったか

菅田 敏幸

質問 市長に就任して政治家佐藤陽一であったと評価しているのか。
市長 市民の立場で理解し、また、市民に理解してもらい、痛みも分かち合える、そのような政治姿勢

で、高く大きな志を持って地に足つけた政治をやってきた。政治家になれたかどうかというのは、これは市民の皆さんが判断する内容である。

質問 4年間で日田市の閉塞感は解消できたのか。

市長 厳しい状況にあった日田の経済をどうやってこれを取り戻していくか、市の独自の対応も行ったが、いまだ経済自体厳しい状況にある。ただ、キヤノンが6月に着工するという話、大変な朗報である。閉塞感を少しでもこじあける光が見えたと感じる。

質問 職員の意識改革はできたのか。

市長 前例踏襲にこだわることなく、いわば温故知新で仕事をやってほしいと職員に機会あることに言ってきた。これも市民の判断によるところである。

質問 市役所採用枠にスポーツ枠を設けることはできないのか。

部長 現在のところスポーツ選考枠は考えていない。

質問 他に、新しい日田市の一体感の醸成について、指定管理者制度を活用していない施設について、公称住所・通称住所について、ウ

決 議

ツドコンビナートに関する諸問題について、日田の観光都市づくりについて、国旗日の丸について、学校通学区域再編についてなどを質問した。

クンチョウ酒蔵活用による美術館構想について、市は三月十一日に日田市土地開発公社による「クンチョウ酒造株式会社」の所有する酒蔵、中庭の取得を延期することを発表しましたが、日田市議会としては、三月十四日の本会議において、次の決議を行いました。

●クンチョウ酒蔵活用による美術館構想に慎重な検討を求める決議

クンチョウ酒蔵活用による美術館構想は、十分な議論が尽くされていない現状では、性急に事を進めるべきではなく、日田市の文化的施設としての捉え方に立ち、多くの市民の意見を反映した計画を策定していくことが必要であり、再度慎重な検討を行うよう求める。

報 告

各委員会の 議案等の審査結果

(新年度関係分の抜粋)



● 総務委員会 ●

新年度一般会計予算を 減額修正

継続審査となっていた、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例は、派遣先の団体名を規則ではなく、議会の議決を必要とする条例本文に定めた修正案を可決した。関連議案も修正案で可決した。

平成二十三年度日田市一般会計予算は、対前年度比四・八%増の三百八十一億二千九十三万四千円となっていた。

歳入は、市内経済の厳しい状況を勘案し、個人市民税は三・二%の減としたが、平成二十二年中の製造業の業績等から、法人市民税で三十八・一%の大幅増を見込み、国庫支出金は十一・二%、地方交

付税では二・五%の伸びをそれぞれ見込んだ。

歳出のうち、岩澤重夫作品保存事業は、市長が酒蔵の取得を延期し、市民の理解が得られた上で計画を進めていくと表明したことから、クンチョウ酒蔵の環境調査及び室内気中化学物質調査費百三十万円を、全会一致で減額修正した。

最終的に、経済環境委員会からの歳入の減額要請のあった豆田地区観光拠点整備事業費二千三百八十六万八千円と、当委員会での減額修正分の百三十万円を加えた、二千五百十六万八千円を減額し、歳入歳出予算の総額を三百八十億九千五百七十六万六千円とする修正案を可決した。

日田市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正は、パトリアの大ホール及び小ホールの



旧小山小学校跡地

施設使用料の軽減措置を三年間延長するもので、原案のとおり可決した。

この他、旧小山小学校跡地の整備計画の策定や、旧羽田小学校跡地の整備計画の変更、日田市情報センター特別会計予算等を原案のとおり可決した。

ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。3月定例会の会議録は、6月上旬から閲覧することができます。

議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。

車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。

●教育福祉委員会●

指定管理期間の三年間を
五年間に改正

日田市各地区公民館、農村環境改善センター、林業センター、若衆宿、中津江ホール、大山文化センター、天領奥日田やすらぎの郷の各施設の指定管理者の指定期間について、三年間を五年間に改め、指定管理者を、一般財団法人日田市公民館運営事業団に指定するため、議会の議決を求めるものであり原案のとおり可決した。

日田市特別会計条例、国民健康保険条例、スポーツ施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について原案のとおり可決した。高齢者生活福祉センターを日田市社会福祉協議会に指定することにについては原案のとおり可決した。平成二十三年度一般会計予算は、以下の意見・要望を付し、原案のとおり可決した。

社会福祉総務費では、地域の高齢者を地域全体で支える環境づくりを要望した。
老人保健福祉計画策定事業は、高齢者の実態を的確に把握し、二

ーズを踏まえた積極的な計画策定に当たると付言した。

幼稚園型認定こども園は、今後の事業実施に当たっては、希望する園と十分協議し、慎重を期すよう付言した。

生活保護総務費では、ケースワーカーの基準に基づく人員確保を要望した。

済生会日田病院では、医師の確保について、より一層の充実が図られるよう要望した。

下小竹埋没林保存活用事業は、伏木埋没林を加えて推進するよう申し添えた。

日田市国民健康保険特別会計予算は、被保険者の負担軽減を考慮し、一般財源からの繰り入れも視野に入れた検討を十分行い、慎重を期するよう付言した。

●経済環境委員会●

クンチョウ酒蔵活用に
伴う関連予算を減額修正

平成二十三年度日田市一般会計予算は、豆田地区観光拠点整備事業費の減額修正を行うとともに、その他事業について以下の意見・要望を付し、全会一致で可決した。



月隈公園からの眺望

委員会修正を行った豆田地区観光拠点整備事業は、岩澤重夫画伯記念美術館活用プロジェクトによるクンチョウ酒蔵を活用した基本構想に基づき、施設の基本設計の委託を行うものである。酒蔵については、土地開発公社において、土地・建物の取得が行われるよう計画が進められていたが、委員会には納得のいく説明がなされていなかったものである。この計画に対し、市議会は慎重な検討

本会議のテレビ中継

一般質問は、市内の有線テレビ(市情報センター、KCVコミュニケーションズ)で生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。

を求める決議を全会一致で採択した。また、市長においては酒蔵取得の延期を表明したところであり、委員会として総合的に判断した結果、減額修正を行ったものである。次に、旅行商品造成事業については、九州新幹線開通に伴い、JRとタイアップし観光客の誘致を進めるとともに、阿蘇方面の観光客を日田に誘致するため、新しい旅行商品の造成を行うものであるが、実効性のある計画となるよう、慎重な検討を要望した。

また、多重債務や訪問販売など消費者からの苦情や相談に適切に

対応するための消費生活相談員の配置については、専門的な知識を持った相談員の安定的な確保を要望した。

さらに、各項目の中で、顧問料という名目で予算計上がなされているが、「一か月五十万円、年間六百万円の顧問料は、果たしてそれだけの価値があるのか」などの意見が出された。

最後に、天瀬塚田地区への牛糞堆肥もどきの投棄による水質汚染及び生活環境被害に関する請願については、結論を見るに至らず、継続審査となった。

虚礼廃止にご理解ご協力を!

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

Q 自治会や老人会等の各種団体の総会に案内を受けた議員が、ご祝儀やお酒を持参して出席することができますか。

A ご祝儀やお酒は寄附に当たりますので、禁止されています。

Q 地区のお祭等に際し、議員がお酒、ご祝儀を出すことができますか。

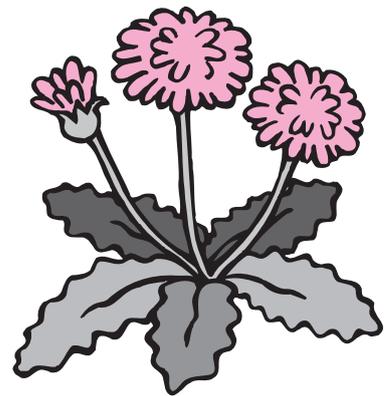
A 寄附に当たりますので、禁止されています。

この他、議員が、各種総会や地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

建設委員会 法定外公共物の管理に 関する条例の一部改正 などを可決

日田市法定外公共物の管理に関する条例の一部改正は、里道、水路について、市民の生命財産に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき、また地元利用者において維持管理が困難であると認めるときに、市が直接施工できる特例制度を創設するもので、事業実施にあたっては、市民に十分周知し、選考過程において公平性が保たれる



よう要望した。

日田市公園条例の一部改正と指定管理者の指定は、ウツド平島公園及び秋山しぜん公園の新設に伴い、その名称及び所在地を定め、財団法人日田市民サービス公社を指定管理者とするもので適切な措置と認め、原案のとおり可決した。

市道路線の廃止及び市道路線の認定は、九路線を一旦廃止し、新たに十六路線を認定するもので、市道の認定基準を満たしており、原案のとおり可決した。

平成二十三年度日田市一般会計予算は、以下の意見・要望を付し原案のとおり可決した。

天瀬温泉まちづくり事業は、事業の最終年度で、桜滝公園の整備遊歩道の設置、天瀬中央駐車場の

整備、温泉街のライトアップなどを行うもので、事業完了後も、あまがせ温泉まちづくり協議会や観光関係者と連携を密にし、天ヶ瀬温泉地域の活性化、誘客数の増加が図られる取組を要望した。

公園管理費は、計百十八の公園施設の管理委託が予定されており、年々増加傾向にあることから、管理委託先の財団法人日田市民サービス公社と十分な協議・調整を行い、公園施設の安全管理には、万全を期すよう要望した。

その他の議案は必要な措置と認め、原案のとおり可決した。



開通した都市計画道路城町高瀬線
(日田高校前から県道日田玖珠線までの間)

常任委員会の行政視察報告

●総務委員会●

期日 平成二十二年五月十九日(水)

〔五月二十一日(金)〕

視察地及び視察項目

- ①北海道登別市
- ・国際交流事業ほか
- ②北海道小樽市
- ・移住促進事業ほか
- ③北海道札幌市
- ・市民情報センターほか

視察内容

登別市は、外国との交流を広く進めることにより、情報交換や異文化交流が進み、全く新しいまちづくりが可能となるとして、平成四年度から国際交流担当を市に置き、中学生海外派遣事業、自治体職員協力交流事業、国際交流事業などを中心に国際化を推進している。登別市には、国際交流を推進する団体が多く存在しているところであり、本市の観光面を考えると、国際性豊かな人材育成や市民の国際理解を促進する施策も必要であると思われる。

小樽市は、北海道の調査におい

て、首都圏のアンケートで約八割

が北海道への移住に何らかの関心があるとの結果になったこと、千世帯の移住で生涯の経済波及効果が五千七百億円と見込まれる試算が出されたこと、また、小樽市の人口が減少していることから、平成十九年以降に退職を迎える団塊世代の移住促進について様々な事業を行っている。この五年間では、三三三帯七四人が移住してきている。本市においてもＵＩターンとして移住促進を行っているが、大分県の積極的な関与を期待したい。札幌市の市民情報センターは、地域の情報を総合的に提供するとともに、市民の情報を活用する能力の向上を図ることにより、地域の情報化を推進することを目的とする拠点施設として平成十四年に開設し、民間の経営ノウハウも活用しながら柔軟で効率的な運営を行っている。しかし、行政外部の専門家や市民による「行政評価委員会」から、設置目的や必要性は低下しており施設の廃止も含めて検討する事と指摘された。本市に

においても行政評価は行われているが、行政内部によるものであり、外部からの評価が必要と考える。

●教育福祉委員会●

期日 平成二十二年十月五日(火)

〔十月七日(木)〕

視察地及び項目

- ①茨城県水戸市
- ・世界遺産登録に向けた取組について(弘道館、偕楽園)
- ②栃木県足利市
- ・世界遺産登録に向けた取組について(足利学校)
- ③群馬県高崎市
- ・やるベンチャーウィーク推進事業について
- ・産後ママヘルパー派遣事業について

視察内容

水戸市の弘道館は、天保十二年(一八四一年)に、第九代藩主徳川斉昭が創設した、五万四千坪という全国でも群を抜く広大な敷地を持つ藩校で、現在の総合大学としての性格を有した近世藩校の到達点として評価される。また、偕楽園は、学業に励む一方で、休養することも大切という考えから、天保十三年(一八四二年)に、弘

道館と一対の学問・教育施設として開園した施設である。

足利市の足利学校は、日本最古の総合大学といわれ、キリスト教宣教師のフランシスコ・ザビエルの書簡でも紹介された施設である。また、史跡内にある遺蹟図書館は、国宝四種(七十七冊)や重要文化財八種(九十八冊)をはじめとする世界的にも貴重な古書など、約一万七千冊を所蔵している。

両市は、世界遺産登録に向けて、平成十九年に、国内の世界遺産暫定一覧表入りを目指したが、一覧表候補の文化遺産と整理され、課題等が提示されている。現在は、同じく暫定一覧表入りを目指した岡山県備前市の「閑谷学校」に本市の「咸宜園」を加え、「近世日本の学問・教育遺産群」として世界遺産登録を目指している。

今回の視察を終えて、今後の世界遺産登録に向けては、市民挙げての取組となることが重要であるということを感じた。

高崎市では、中学二年生が五日間連続して職場体験を行う「やるベンチャーウィーク推進事業」と出産後の支援を行う「産後ママヘルパー派遣事業」の視察を行った。

● 経済環境委員会 ●

期日 平成二十二年四月二十八日(月)

〔四月二十八日(水)〕

視察地及び視察項目

- ① 高島市(滋賀県)
- ・ 農業活性化プランについて
- ② 宇治市(京都府)
- ・ 産業振興施策について
- ③ 奈良市(奈良県)
- ・ 観光振興施策について

視察内容

高島市では、農業推進の指針となるだけでなく、関係団体、生産者、消費者等の各主体が情報を共有し、それぞれの役割に応じて主体的に取組を進める上での共通の指針となる「高島の農業活性化プラン」の策定を行った。計画では、食料生産だけでなく、自然環境の保全・地域文化を継承するための基盤づくりを農業振興の視点として捉えている。また、「たかしま生きもの田んぼ」の取組を創設し、生き物、消費者、生産者、三つの安心を提供できる仕組みを農業者とともに具体化し、米のブランド化を目指しており、本市でも参考となる取組であった。

次に、宇治市は、京都市に次ぐ

第二の産業都市である。日産車体京都工場の跡地を、ものづくり産業の集積地として位置付け、製造業を中心とした企業誘致を進めるとともに、その一角に、市内既存産業の振興を目的とした宇治市産業振興センターとベンチャー企業

の育成を目的とした宇治ベンチャー企業育成工場の整備を行っている。現在、八区画ある育成工場のうち、七区画が入居済みであり、それぞれ最先端の中小企業が製品の研究・開発を進めている。

最後に、奈良市は、「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録され、歴史や自然環境を守り育てるとともに、新しい時代に対応した文化を創造し、人を中心としたまちづくりを進めている国際文化観光都市である。市では、もてなしのまちづくり条例の趣旨を取り入れ、観光客に奈良の良さを伝え、将来リピーターとして訪れてもらえるまちづくりを目指して奈良市



観光交流推進計画の策定を行ったところであり、本市においても計画策定の必要性を感じた。

● 建設委員会 ●

期日 平成二十二年五月十九日(水)

〔五月二十一日(金)〕

視察地及び視察項目

- ① 大阪府茨木市
- ・ まちづくり塾について
- ② 京都市長岡京市
- ・ 長岡京市景観計画・景観条例について
- ③ 兵庫県神戸市
- ・ 神戸市の景観行政について

視察内容

茨木市では、平成十二年度から、市民を対象に、「まちへの関心を高めるとともに、市民同士の交流を深める」ことを主な目的として、市民参加型の講座としてまちづくり塾を開催している。一般コースでは、「あるものを活かしたまちの魅力づくり」をテーマにグループワークを行い、あるものを見つめ直し、資源を見つけ、その資源をまちづくりに生かすために取り組めることを考察している。この講座を通して、まちの魅力を再確認し、まちに関心と愛着を持って

もらうことをねらいとしている。ほかに、小中学生を対象としたコースも開催している。

次に、長岡京市では、平成二十一年に景観計画を定めており、「住みつけたいみどりと歴史のまち」の実現を図り、市民・事業者・行政の協働による景観形成を積極的に進めている。景観を守るため、建築物・屋外広告物などの色彩や高さ制限を設けているが、市民に景観への意識を持つてもらうため、緩やかな規制誘導から始めている。この計画は、対象を市域全域とし、市民アンケートやまちづくり審議会からの答申を基に策定されている。

最後に、神戸市では、平成十六年に神戸市夜間景観形成基本計画を策定し、地域・地形の特徴を生かした魅力ある夜間景観の創造を進めている。夜間景観をより魅力的なものにするため、神戸市でも市民・事業者・行政等の様々な主体の協働が求められている。また、平成七年の阪神・淡路大震災は、震災の暗闇を経験した市民一人一人が光の意味や大切さについて再認識する契機となり、光は、復興のシンボルともなっている。

請願の結果

三月議会では、請願四件が審議され、次の結果となりました。

採択されました

- 環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加反対に関する意見書の提出を求める請願
- TPP参加に反対する意見書の提出を求める請願

継続審査となりました

- 日田市天瀬塚田地区への牛糞堆肥もどきの投棄による水質汚染及び生活環境被害に関する請願

取り下げられました

- 就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願

意見書

三月議会では、次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。

- 環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加反対に関する意見書

環太平洋経済連携協定（TPP）は、国内農業や地域社会に壊滅的な影響を与えるのみならず、食料危機が懸念される中で国民生活にとつても取り返しのつかない事態を招くことになるため、TPP交渉には参加しないこと、また、今後の農産物貿易交渉に当たっては、食料、農業、農村基本計画と整合性をもって交渉を行うことを求めるもの。

- 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

国民健康保険料が高くなった要因は、国民健康保険の主な財源である国庫負担率が引き下げられたことにあり、国民健康保険制度を真に社会保障として存続させ、加入者が安心して必要な医療を受けられるようにするため、国庫負担の増額を求めるもの。

公平委員会委員

次の方を日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員に選任することに同意しました。

一木 俊廣 氏（淡窓一丁目）

編集後記

地方自治体は、議会と執行機関で組織されている。その下で、相互間の均衡と調和、連携と対話をもつての市政の運営が極めて重要だと思ふ。

ところが、今の市政にはそれが欠落している。土地開発公社の問題をはじめ、多くの課題で議会との不協和音が生じている所以であると思ふ。

今回の岩澤画伯の記念館建設も市民不在で、大学教授等により事が進められている。因みに、宝さがし事業や市のイメージポスター制作等々、教授の発案、提言に依るものである。

そうした外部頼みの傾向が目立つようになった。果たして良いものか、懸念される。

（室原 基樹）

新議長・副議長が就任

平成23年第1回市議会定例会では、前議長の議員辞職に伴い、議長・副議長選挙が行われ、城野禮子副議長が議長に、鷹野守男議員が副議長に就任しました。

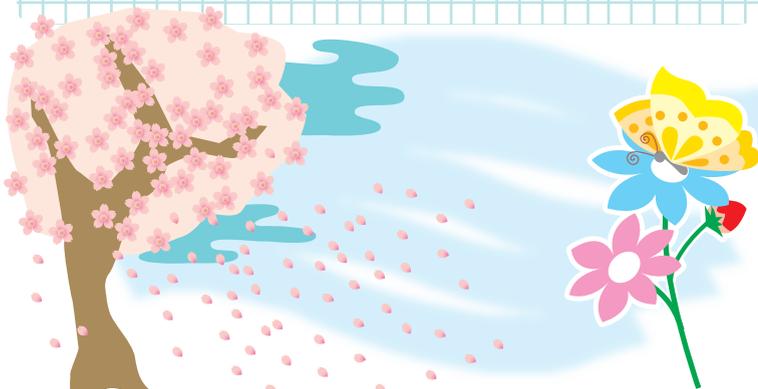
任期は、平成23年2月25日から平成23年4月30日までです。



議長 城野 禮子



副議長 鷹野 守男



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局（☎二二一八二二四）へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境にやさしい「大豆油インク」を使用しています。